

祝成人

■ Photo report

第78回鮫川村成人式～二十歳を祝う会～

■ 税の申告はお早めに

所得申告相談が始まります

ぼく・わたしの夢

〔第102回〕

鮫川小学校6年生の児童に夢や目標を教えてくださいました。



陸上選手になりたい

鈴木日南乃さん

わたしの将来の夢は、陸上の選手になることです。理由は、小学生になって福島駅伝を見て興味を持ち、そこから走る事が好きになりました。目標は福島県で長距離10位以内に入ること、福島駅伝に出場することです。そのために、家の近くで練習をしたり、先生の話をよく聞いて練習を続けていきたいです。中学生になると部活動もありますが、陸上もがんばっていききたいです。



プロゲーマーになりたい

芳賀俊介さん

ぼくの将来の夢は、プロゲーマーです。ぼくはゲームをすることが好きで、ゲームをしていると楽しいのでプロゲーマーになりたいと思いました。でも、ゲームだけではだめだと思うので勉強もがんばりたいです。中学生になってがんばりたいことは、部活動です。部活では卓球部に入って試合で活躍したいので学校やスポ少でも練習をがんばって今よりも上手になりたいと思います。

今月の表紙 / 成人おめでとうございます



幼いころから苦楽を共にし成長した21人の新成人たち。第2部では近況報告が行われ、それぞれ将来の夢を語りました。その希望に満ちあふれた姿は、まさにこの国の希望そのものでした。また、我が子の成長を喜び、嬉しそうにシャッターを切る親御さんの姿もほほえましかったです。

SNSでも情報配信中

村公式アカウントはコチラ



Facebook



Instagram



Line

編集後記

二十歳を迎えた皆さんおめでとうございます。私が入庁した年に中学3年生だった子ども達が、立派に成長した姿に感慨を覚えます。6年という歳月が流れたことへの驚きとともに、皆さんのまっさらな未来に少しばかりうらやまさが混じった気持ちも抱いてしまいました。これから何者にでもなれる未来を大いに楽しみ、人生を満喫してほしいです。大人ってとっても楽しいよ！（藤田）

interview

ハタチのキモチ

高校を卒業してから、棚倉町の畜産業の会社で働いており、今年は人工授精師の資格を取得する予定です。20歳を迎えた今年は新しい挑戦をしていく年にしたいです。



芳賀 利哉 さん
(福原・20)



小松 レイ さん
(大戸中・20)

郡山の専門学校で、ペットのトリミングやトレーニングなどの勉強をしています。4月からは二本松市で働き始めます。生活習慣を整えて、健康に気をつけて過ごしたいです。



水野 陽亮 さん
(沼野沢・20)

神奈川の大学で経済について学んでおり、野球も続けています。20歳は出来ることも増える一方で、自分に責任を持つ年齢でもあります。自立した人間になりたいです。

渡邊咲来さん(道少田)が「鮫川村で生まれ育った誇りを持って生きていく」と誓いの言葉を述べ、生田目早翔さん(辺栗)が村で育ったことへの誇りや友人への感謝など、二十歳を迎えた思いを発表しました。

記念行事では、奥州鮫川太鼓保存会による祝い太鼓や実行委員が作成したスライドショーの上映、タイムカプセルの開封など、ゲストの小・中学校の恩師とともに思い出話に花を咲かせました。

式では、成人を代表して水野陽亮さん(沼野沢)、藤田友稀さん(上)に宗田村長から記念品が手渡されました。

宗田村長は「家族や友人を慈しみ、日々の生活を大切に悔いの残らないよう、これからの人生を有意義に過ごして欲しい」とエールを送りました。

21人が迎えた 新たな門出

晴れやかな笑顔で 二十歳の門出を祝う

1月11日(日)に開催された第78回鮫川村成人式～二十歳を祝う会～。今年は男性11人、女性10人が二十歳を迎えました。久しぶりの旧友との再会に会場では、終始晴れやかな笑顔があふれていました。



6 晴れやかな表情で旧友と記念撮影 7 凛とした表情で式にのぞむ 8 笑顔でピース 9 タイムカプセルには懐かしい思い出がたくさん 10 近況報告では笑顔が絶えなかった 11 一本締めで会を締めた

1 出席者全員で記念撮影 2 誓いのことばを述べる渡邊さん 3 成人を代表し記念品を受け取った水野さん(右)と藤田さん(左) 4 旧友と久しぶりの再会を喜んだ 5 鮫川への思いを語った生田目さん

Photo report
鮫川村成人式



所得申告相談受付日程を確認しましょう

会 場 役場 2 階 正庁

時 間 ①午前 9 時～午前 11 時 30 分 ②午後 1 時～午後 4 時 30 分（22 日は午後 4 時まで）
※受付は午前 8 時 30 分から行います。

2 月	13	金	全地区	還付・追加徴収申告者のみ（※営業・農業は受付しません）
	14	土		
	15	日		
	16	月	赤坂西野	酒垂新・旧、石神、火打石、岫長、虹ヶ沢、荻ノ沢
	17	火	赤坂西野	切払上・東、名下一・二、茅、茅南、西野団地、本坂、滝、蕨平、草牛
	18	水	赤坂西野	仁田、滑石、上、中、西、浅屋敷、前折戸、塩倉一・二
	19	木	西 山	戸倉、赤柴、菅田、菅ノ目、水口一・二、大沢
	20	金	西 山	落合、大平、追木、折戸、余所内
	21	土		
	22	日	臨時受付日	指定日に申告できない人
	23	月		
	24	火	西 山	西野内、宝木、押野、岩野草上・下、大久保
	25	水	青生野	丸谷地、大平、江堀、世々麦
	26	木	青生野	大犬平、青生野、西谷地、姿平
	27	金	富 田	前沼、彦次郎一・二、日和田
	28	土		
3 月	1	日		
	2	月	富 田	反田一・二、二反田一・二、欽木田一・二・三、中沢一・二・三
	3	火	渡 瀬	江竜田元・上・新、大戸中、下、中山、木之根一・二・三、中野町、上耕地
	4	水	渡 瀬	福原一・二、田苗下、田尻一・二、関口一・二・三、越虫
	5	木	赤坂東野・石井草	芦ノ草、滝ノ下、蕨ノ草、木戸沢、大竹上・下、戸草上・下、新立、葉貫
	6	金	赤坂東野・石井草	大石草、遠ヶ竜前・後、唐露、大根屋敷、中内、大房、櫛久保
	7	土		
	8	日		
	9	月	赤坂東野・石井草	官代下・上、石井草、前田
	10	火	赤坂東野・石井草	内ヶ竜上・下、広畑一・二・三・四・五
	11	水	赤坂中野	薄ヶ久保、官沢一・二、前田一・二、馬場、鬼越、ひだまり、中野団地
	12	木	赤坂中野	大塩一・二・三、真坂東・上・下、取上、宿ノ入、伏木田
	13	金	赤坂中野	新宿一・二・三・四・五・六・七、道少田一・二・三・四・五
	14	土		
	15	日		
	16	月	予備日	指定日に申告できなかった人

※指定日以外に来られた場合は、指定日の人を優先しますのでご了承ください。2 月 22 日（日）は混雑が予想されますので、できるだけお住いの行政区指定日にお越しください。

問合せ先

村・県民税申告について

確定申告について

総務課税務係 ☎ 49-3111

国税相談専用ダイヤル ☎ 0570-00-5901

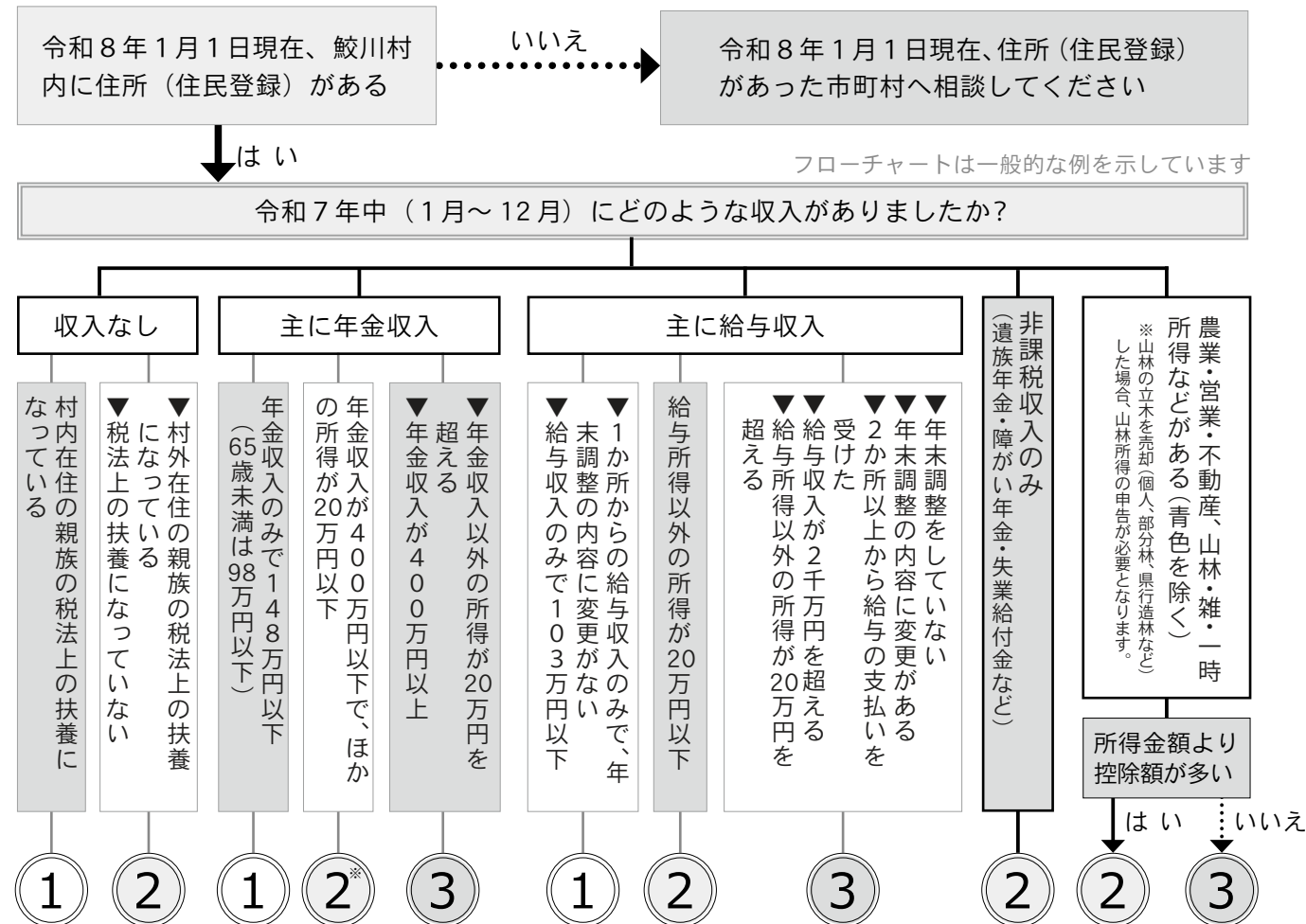
…自動音声案内に従い『0』番を選択

【開設期間】 3 月 16 日（月）まで 平日 / 午前 8 時 30 分～午後 5 時
※土日祝日の対応について、3 月 1 日（日）のみ電話相談を受け付けます。

税の申告はお早めに!



申告が必要かどうか確認しましょう



① … 村・県民税（住民税）の申告、所得の確定申告は不要です

② … ▶村・県民税（住民税）の申告が必要です
▶所得の確定申告は不要です
※給与・年金から所得税が引かれて還付になる場合、所得の確定申告が必要です。

③ … 所得の確定申告が必要です ※税務署、e-TAX でも申告が可能です

☑ 申告に持参する書類などは**広報さめがわ 1 月号または、1 月 15 日（木）に全戸配布した黄色の「所得の確定申告のお知らせ」と水色の「申告相談をされる方へのお願いと注意点」**をご確認ください。

- ▶受付に係る時間短縮のため、領収書などの事前集計にご協力をお願いします。
- ▶肉用牛の販売がある人は「売却証明書（原本）」が必要です。成牛（親牛）の販売についても申告する必要があります。また、削蹄や市場への輸送費などの領収書も確認します。あらかじめ取引先（相手方）から交付を受けて、申告する際に他の領収書と一緒に持参してください。領収書がないものは経費に算入できません。
- ▶医療費控除をする人は、受診月に関わらず個人ごと、医療機関ごとにまとめて集計をしてください。加入している健康保険から高額療養費補填を受けた場合や、加入している生命保険から入院費給付金を受け取った場合などは差し引きます。

建設場所を

「青少年広場」に決定

建設予定地としていた「旧修明高校鮫川校跡地」が土砂災害警戒区域に指定される見込みであることを受け、村は建設候補地の見直しを行いました。



造成費用が増大と予想

令和6年9月に策定した「鮫川村義務教育学校基本構想」では、必要面積や利便性などを考慮し、義務教育学校の建設予定地を旧修明高校鮫川校跡地（以下、「鮫川校跡地」という。）としていました。

しかし令和7年9月に、鮫川校跡地に建設する場合、土砂災害警戒区域に指定される見込みであることが判明。土砂災害区域に指定されないためには、周辺の急傾斜を改善しなければならず、多額の費用負担が発生する見通しとなりました。



当初建設を予定していた鮫川校跡地。土砂災害警戒区域に指定される見込みであることが判明。

また、国道349号の道路敷を払い下げ建設用地とする予定でしたが、県内でこれまで国道の敷地を学校建設のために使用した前例がなく、国との協議に多くの期間を要し、学校の建設時期が大幅に遅れる可能性が高くなりました。国道の敷地を建設用地としてではなく、道路としてそのまま使用する場合は、手続きはスムーズに進みますが、建物が西側に大きく移動することになり、土地造成などの費用も増えることが想定されました。

村は、こうした経緯から建設予定地の見直しを行いました。

建設候補地を新たに選定

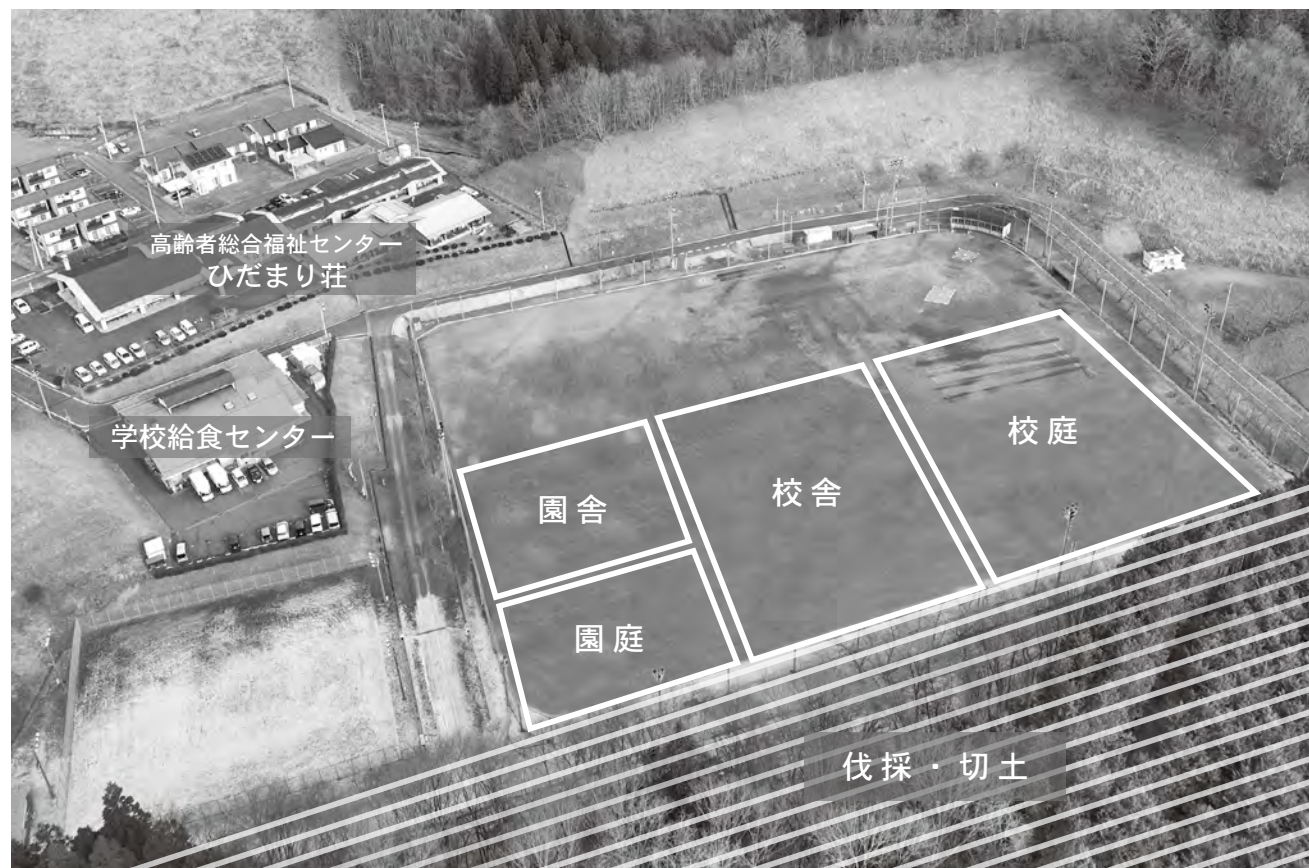
選定の主な理由

- ☑ グラウンドとして整備が行われており、平地が確保できているため、造成範囲が少ない
- ☑ 周辺施設（学校給食センターやひだまり荘）との相互連携を図ることができる

建設候補地の再検討に伴い、庁内プロジェクトチームで集中的に検討を重ねてきました。11月27日（木）に開催された第4回村幼保小中教育連携協議会では、村から3候補地（鮫川校跡地・青少年広場・鮫川中北西側山林）が提示され、協議の結果、提示された3候補地を適当として村に答申しました。

青少年広場を建設予定地に決定

村は答申をもとに、早期開校が可能であり、さまざまなリス



▲建設イメージ ※今後変更となる場合があります。

今後のスケジュール（予定）

- 令和7年2月 - 令和8年7月 ... 施設設計
- 令和8年8月 - 令和9年1月 ... 造成設計
- 令和9年6月 - 令和10年2月 ... 造成工事
- 令和10年3月 - 令和11年3月 ... 建築工事
- 令和11年4月以降 ... 義務教育学校開校
こどもセンター開園

ク回避を考えたうえで、建設予定地を「青少年広場」に決定しました。また、周辺山林の切土により校地を確保し、進入路である村道の拡幅、駐車場の整備などを想定しており、こどもセンターも併せた一層コンパクト化を図った義務教育学校の建設を目指します。

青少年広場は、スポーツ振興くじ助成金を活用し大規模整備を行い、スポーツ施設として利用しています。スポーツ施設以外での利用の場合、助成金の返

令和11年度の開校を目指す

令和6年11月に村が県・県教育委員会と締結した「旧修明高校鮫川校の敷地利活用に関する協定」に関しては、引き続き支援を受けられるよう県と協議を進めていきます。また、義務教育学校を建設する青少年広場と鮫川校跡地を一体的な学びのフィールドとして整備することにも、青少年広場の代替となるようなグラウンドの建設も予定しています。

村は義務教育学校の令和11年度の開校を目指し、今後も事業を進めていきます。

☎ 49-31151

▼「意見」要望は「いっしょ」





①地域力創造アドバイザー・北川氏が来村し、村民が中心となり定期的に活動を行う ②子ども連れの参加者も多い



4つのグループ

遊び場

関係人口

空き家

景観保全

これまでの成果を発表 活動報告会を開催します



日時 令和8年2月28日④
午後3時～
場所 公民館大集会室
その他 ・予約不要
・子ども連れ歓迎
・途中入退室自由

問 農林商工課商工観光係
☎ 49-3113

令和6年度に視察研修に行った香川県三豊市では、地域住民（事業者など）が主体となり、地域の課題解決につながるビジネスを展開しています。そうした事業は地域の活性化だけでなく雇用創出にもつながり、人口減少の解決の糸口にもなっています。

ビジネスの形をより具体化させています。現在、「遊び場・関係人口・空き家・景観保全」の4つのグループに別れ、それぞれビジネス化に向けた課題解決や、仮設の検証に取り組んでいます。

また、子育て世帯が気軽に参加できる環境を整えたことで、子ども連れでの参加も増えており、未来を担う子ども達と村の未来を考える保護者などが時間を共有できる空間となっています。

行政が担うべき役割と民間（住民）が発揮できる特性や強みを活かし、それぞれの役割を明確化することで、地域課題の解決は大きく前進します。

「千里の道も一歩から」という言葉に象徴されるように、村民の自主性と創意工夫で地域課題に向き合い、解決しようという動きが始

まっています。参加者は「小さな村だからこそできる幸せな暮らしを実現したい」という強い思いを胸に活動を進めます。そうした思いは、この村に住む誰もが思う願いではないでしょうか。私たち一人ひとりができることを積み重ね、持続可能な村づくりに向けて動き出しましょう。

村民主体の 地域ビジネスの可能性を探る



鮫川村ローカル・ゼブラ企業創出事業

「村の未来をつなぎたい」 村民の挑戦

人口減少や耕作放棄地の増加など、私たちの生活に深く関わる課題は年々深刻さを増しています。これは鮫川村だけでなく日本全体が直面する大きな問題でもあります。「今、アクションを起こさないと将来鮫川村はなくなってしまうのでは？」そんな危機感を持ち、自分たちが村のためにできることを模索し動き始めた村民の活動を紹介します。

村内の高齢化率は45・2%（令和8年1月1日現在）を超え、昨年度は消滅可能性自治体にも名を連ねた本村。村内の道路沿いでは年々耕作放棄地が目立つようになりまし

人口減少が進み、これまで行っていた事業の継続が難しくなるという新たな課題に直面しています。

こうした中で「村の誇りを次世代につなげたい」「鮫川村に住んで良かったと思える環境をつくりたい」そういった思いを抱く住民が、自発的な活動を通じて、地域課題の解決に向け取り組みを始めています。



年々増加する道路沿いの耕作放棄地

地域力創造アドバイザーを 招へい

「地域力創造アドバイザー」とは、総務省が推薦・登録する地域活性化の専門家で、市町村が地域独自の魅力向上や課題解決のために招き、指導や助言を受けることができる外部人材のことです。地域づくりをサポートする「自治体の伴走者」のような役割を持ちます。

村では、地域特性を活かした地域ビジネスの創出を目指し、令和6年度から、地方の課題解決型ビジネス創出の実績のある株式会社MISO SOUP代表取締役・北川智博氏をアドバイザーとして招へいし、村民から参加者を募り活動を行ってきました。



①令和7年2月に香川県三豊市を視察研修で訪れた ②ゲストを招き村内で行ったフィールドワークの様子

無利子で資金を貸与

村奨学金奨学生を募集

村教育委員会は、次のとおり鮫川村奨学金の奨学生を募集します。

募集期間

2月16日（月）

～3月27日（金）

応募資格

- ①品行が正しく、学術に優れ、体が強健である人
- ②鮫川村に5年以上住んでいるか、5年以上住んでいたことがある人
- ③高等学校、高等専門学校、大学などに在学または今年入学予定の人
- ④経済的理由により修学が困難と認められる人
- ⑤国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額

- ▼高等学校・各種学校（1～3年）：2万円以内
- ▼高等専門学校：5万円以内

内（3年までは2万円以内）

▼大学院および大学・短期大学・専門学校：5万円以内

貸与期間

令和8年4月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の返還

▼貸与は無利子で、卒業6か月以降、10年以内に返還すること（全部または一部を一時返還することができます）

▼卒業後、鮫川村に居住し、農林業または保健、福祉、医療の向上を図るための資格を取得し、村内に10年間就業した人は奨学金の返還が免除されます。

奨学生の決定

選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

問教育委員会

☎49-3151

地域の人権問題に対応

人権擁護委員に小松照義さん

新たに人権擁護委員に委嘱された小松照義さん（新宿）の委嘱状交付式を1月13日（火）に役場村長室で行いました。

福島地方法務局白河支局の佐藤義治支局長が法務大臣からの委嘱状を伝達し「地域の住民の人権を守る大切な役割。法務局も一緒に人権擁護活動を推進していく」と激励しました。小松さんは「これまでの人生経験を社会の役に立てたい」と意気込みを話しました。

任期は令和8年1月1日から



委嘱状を交付された小松さん（中央）

ら令和10年12月31日までの3年間です。

問住民福祉課

☎49-3112

新しい区長が決まりました

青生野区長に星弘美さん

堀川照夫区長の逝去に伴い、副区長の星弘美さんが令和7年12月21日付で区長に就任しました。任期は令和9年3月31日までです。

まずは教育委員会へご相談ください

小中学生の区域外就学制度

鮫川村内に住所がある小中学生を村外の学校に就学させたい、村外に住所がある小中学生を村内の学校に就学させたいという場合には、**区域外就学制度**を利用できる場合があります。

■住民票がある市町村の学校に就学することが基本です

市町村の教育委員会では、就学予定者の住所により、就学する学校を通知します。住所がA村にあるならA村の公立学校に、B町にあるならB町の公立学校に就学することが基本になります。

■住所地とは別の市町村の学校に就学させたい場合

住所地とは別の市町村の公立学校に就学を希望する場合

には、就学させたい学校のある市町村教育委員会に申請書を提出し、その承諾を得る必要があります。私立中学校、県立中学校へ就学させる場合には申請は必要ありませんが、別途届出が必要です。

■区域外就学の承諾を得るには3つの条件があります

区域外就学の承諾を得るには、①提出先の教育委員会が定める基準に該当し、②住所地の教育委員会にも異議がなく、③通学について保護者の責任において安全が確保されていることが必要です。

区域外就学は関係する教育委員会間での協議に時間がかかりますので、就学を希望する学校を所管する教育委員会へ早めにご相談ください。

問教育委員会

☎49-3151

選挙管理委員が変わりました

前田榮選挙管理委員会委員長の逝去に伴い、補充員から金澤一四委員を充て、委員の構成が次のとおり変わりました。金澤委員の任期は令和9年2月1日までとなります。

令和8年1月9日に開催した第1回選挙管理委員会では、新たな委員長に岡部啓一委員を選出、委員長職務代理者には矢吹俊次委員が指定されました。

	新任	前任
委員長	岡部 啓一	前田 榮
委員長 職務代理者	矢吹 俊次	岡部 啓一
委員	金澤助右門	矢吹 俊次
委員	金澤 一四	金澤助右門

問選挙管理委員会

☎49-3111

地域げんき商品券



村は、昨今続く物価高騰対策として、村内で利用ができる商品券を、村民1人あたり2万5千円分配布します。

対象

令和7年12月1日現在、村に住所を有するすべての人

配布方法

令和8年2月27日（金）に村から世帯主宛てに、各行政区の回覧を通して配布します。

その他

利用できる村内の事業所は、商品券と配布するチラシをご覧ください。

問農林商工課商工観光係

☎49-3113



上_通常点検を受ける消防団員 / 下_無火災分団の表彰を受ける鈴木隆第1分団長

1年間の無火災を祈願

令和8年鮫川村消防団出初式

令和8年鮫川村消防団出初式は1月4日(日)、村公民館で行われ、1年間の無火災を祈願しました。式に先立ち、消防車両による村内分列行進で火災予防を呼びかけ、その後通常点検と水勢披露が行われました。

出初式には、幹部団員や来賓などおよそ100人が出席。宗田村長は「災害は必ず発生する。住民の生命と財産を守るといふ崇高な消防精神を持ち、住民を守って欲しい」と団員を激励しました。前田博之団長は「それぞれ本業を持つ傍ら、日々の活動をしている。地域社会の構造が変化する中で、我々消防団が果たす役割は大きい」と式辞を述べました。その後、無火災分団と優良団員に村長から表彰状が手渡され、受賞者を代表して第2分団班長の根本潔さん(岩野草)が謝辞を述べました。表彰を受けた分団・団員は次のとおりです。

▶無火災分団表彰…第1分団、第2分団、第3分団

▶優良団員表彰(敬称略)…【第1分団】金澤剛士、五十嵐武、塩田寿弥 【第2分団】根本潔、石井大輔、本郷長幸 【第3分団】笹島さとる、青戸康



飾られたみずきの木を遊ぶ園児

伝統行事を楽しむ

こどもセンターで小正月にだんごさし

小正月の伝統行事「だんごさし」が1月15日(木)に、こどもセンター(小針富子園長)で行われました。今年は村老人クラブ西山長生会の5人が来園し、子ども達と白と千本杵を使った昔ながらの餅つきを行いました。餅つきの後は、色を付けた餅を細かく切り、クラスごとにみずきの木に一つひとつ丁寧に餅を飾り、小正月を祝いました。

ふるさと鮫川を思う

第40回東京鮫川会総会が開催

東京鮫川会(森厚会長)の総会が1月24日(土)に東京都日枝あかさか山王茶寮で開催されました。会員21人と村関係者17人が出席し、森会長のあいさつに次いで宗田村長、前田議長が祝辞を述べました。総会終了後には新年会も開催され、40回の節目を記念し鏡開きを行いました。ふるさと鮫川での思い出話や近況報告にも花が咲き、手まめ館による物産販売も賑わいました。



鏡開きを行う前田議長(左)・宗田村長(中央)・森会長(右)



受賞を報告した増子さん(右)

瑞宝単光章受賞を報告

陸上自衛隊員として36年間活躍

警察官や消防士、自衛隊など危険を伴う業務に従事した元公務員を対象とした「第45回危険業務従事者叙勲」において、陸上自衛隊として36年間活躍した増子信男さん(名下)が瑞宝単光章を受賞しました。12月25日(木)に役場村長室を訪れ受賞を報告した増子さんは「みなさんのおかげで受賞できた。国民の生命、財産を守れたことが誇り」と受賞を喜びました。

退任感謝状を授与

人権擁護委員を4期12年務める

人権擁護委員を退任した佐藤文夫さん(火打石)への退任感謝状贈呈式が1月14日(水)に役場村長室で行われ、福島地方法務局白河支局の佐藤義治支局長から退任感謝状が贈られました。佐藤さんは平成26年1月1日から4期12年に渡り、地域の人権問題に対応しました。佐藤さんは「あっという間の12年。さまざまな人たちと巡り会ってやってこれた」と12年の活動を振り返りました。



感謝状を受け取った佐藤さん(中央)



慎重にボード目がけてリングを投げる参加者

熱戦を制したのは関口チーム

村長杯クロリティー大会

村老人クラブ連合会主催の第14回村長杯争奪クロリティー大会が1月14日(水)に村公民館で行われました。各地区から17チームおよそ90人が参加し、日頃の練習の成果を競いました。狙いを定めてリングを投げる参加者の一投一投に歓声があがり、会場はおおいに盛り上がりました。

▶優勝=関口▶準優勝=東石B▶3位=東石A、真坂

自分だけの卒業証書づくり

鮫川小6年生が和紙すき体験

1月13日(火)・14日(水)・15日(木)の3日間、鮫川小学校(吉田智校長)の6年生が、鮫川和紙の家で和紙すき体験を行いました。鮫川和紙職人の齋須寛一さんと農林商工課の石井洋平さんの指導のもと、児童一人ひとりが和紙すきを行いました。今回自分たちですいた和紙は、3月に行われる卒業式で自身の卒業証書として使用されます。



齋須さんの指導で和紙をすく児童

Book 図書の街話

図書館からおすすめの本をご紹介します
鯉川村図書館 ☎ 29-1150

雪だるまの雪子ちゃん
著：江國香織（偕成社）



雪子ちゃんは野生の雪だるまです。大雪が降ったある日、空から降ってきた子どもの雪だるまです。小さいけれどとても美しい村に住んでいます。友人の百合子さんとトランプをしたり、森の動物たちとお話をしたり、ときには小学校に通ってみたい。雪子ちゃんの過ごした、すてきな冬の日々が童話のように描かれています。

17歳のときに知りたかった
受験のこと、人生のこと。
著：びーやま（ダイヤモンド社）



受験を「ゴール」ではなく、その先の人生まで見据えて考える一冊です。「もっと早く知りたかった」と感じる内容が詰まっており、今まさに進路に悩む中高生はもちろん、当時は振り返る大人や、子どもを見守る保護者にもおすすめです。受験という言葉を通して価値観をアップデートしてみませんか？



第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はこちら

2月8日 投票に行こう！ 第51回衆議院議員総選挙

衆議院議員総選挙が行われます。あなたの大切な1票を国政に反映させるために、棄権しないで必ず投票しましょう。



期日前投票ができます

投票場所 役場1階村民ホール

期 間 令和8年2月7日（土）まで

時 間 午前8時30分～午後8時
※午後5時～午後7時が混雑します。

そ の 他 入場券裏面の宣誓書を事前に記入して持参いただくと、投票がスムーズに行えます。

問 選挙管理委員会 ☎ 49-3111



投稿句

雪の下黄色に咲くわ福寿草

宗田 稔

事故多し江竜田下のへやピンカーブ何時直るかど皆が待つ

蛭田 昌一

愛犬と毎日遊ぶ楽しさが長生出る
第一歩

蛭田 昌一

奥の鯉川文芸クラブでは、会員を随時募集しています。初心者の方も大歓迎です。入会前に句会・短歌会を見学することもできます。詳しくはお気軽にお問い合わせください。
奥の鯉川文芸クラブ
会長 斎須信子 ☎ 49-2123

私は漫画が好きなんです。正直、今回執筆依頼をされ、自分のことについて改めて考えてみましたが、漫画についてが一番筆が進みましたし、自分らしいなと思いました。
「漫画なんて子どもみたい」などの意見もあるでしょう。ですが、私は漫画が好きです。作者が考えた設定に驚き、登場人物のセリフや考え方に共感したり、困惑したり、ストーリーに感動したり、イラストの画力、表現力に惹きつけられたりと好きな所は漫画の数だけたくさんあります。作者が書く内容によっては、まるで違う世界だったり、意外と身近な世界だったり色々なジャンルがあるところも好きな理由です。その漫画を通して、知らなかったことを覚えることができたり、やったこ

村民【随想】リレー — (330)

私は 岡部 颯馬さん

とがないもの、自分には関係ないと思つたものに関心を持つようになりました。
そして、私が漫画が好きな一番の理由は、漫画を通じて人と話すこと、一緒に共感できることです。高校や職場でも、コミュニケーションをとる際、お互いが読む漫画を知っていると距離感が近づき、話しやすくなり、助けられた、読んでいて良かったと思うことが多くありました。自分のことを改めて考えて、人と共感したり、いろいろな考え方をさせてくれるからこそ「私は漫画が好きなんです」。

次号は、関根司さん（余所内）にバトンタッチ！

俳句

みちのくは旅の始まり初詣

渡辺 家造

年の夜や登る参道灯り立つ

山本 恵子

打たれ羽子木の実音残し振れ飛ぶ

服部 啓一

阿武隈の山並み安し初御空

鍋木 重正

初株や嘶き聞こゆ峠越え

斎須 信子

短歌

南天の赤い実たわわ雪かぶり寒くな
いかとそつと払えり

赤坂 和子

江竜田の丘の広場に放牧の草を食む
馬孫にメールす

藤田智枝子

寒水で紙漉き作業忙しなか集金員へ
濡れ手で紙幣

服部 啓一

暁の雪を被ける南天は埋火のごとほの
ぬくしかな

須藤 幸子

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651



災害時対応電話

☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求めで、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■ふるさと納税・寄付 12月受理分

※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税 … 72件

・寄付
[金員] 教育振興のため … 矢吹政徳

■今月の納税

・後期高齢者医療保険料第6期 【納期限: 2月2日】

■1月号の訂正とお詫び

14ページの民生委員・児童委員の表記に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

誤▶栗原順一・再 → 正▶栗原順一・新

デマンド交通「さめばす」

(予約専用) ☎ 070-3791-0488



火の使用に制限がかかります
—林野火災注意報・警報—

令和8年1月から、「林野火災注意報・警報」が発令された場合、火災予防条例第29条の規定により、火の使用の制限がかかります。林野火災警報発令時に「火の使用の制限」に違反した場合、**30万円以下の罰金または拘留に処すること**が消防法第44条で定められています。

また、火入れ許可を受ける場合は、火入れを行う期間の開始日の10日前までに、火入許可申請書を農林商工課農林畜産係に提出してください。

問農林商工課農林畜産係

☎ 49-3113



(詳細はこちら)



軽自動車税(種別割) 口座振替領収
済通知書の郵送を廃止

軽自動車税の納付状況がオンラインで確認できる「軽 JNKS(ジェンクス)」の運用が令和5年1月から開始されており、現在、車検を受ける際に納税証明書の提示が原則不要となっています。

そのため、これまで軽自動車税を口座振替により納付された方へ郵送していた領収済通知書(納税証明書)を**令和8年度から廃止する予定**です。

●軽 JNKS (ジェンクス)

軽自動車税(種別割)の車両ごとの納付情報を、軽自動車検査協会・運輸支局等がオンラインで確認できるサービスです。

問総務課税務係 ☎ 49-3111



(詳細はこちら)



自動車の移転・抹消の手続きは
済んでいますか?

自動車税種別割は、毎年4月1日(午前0時)現在で、車検証に記載されている「所有者」または「使用者」に課税されます。例年、「所有していない自動車の納税証明書が届いた」「納税通知書が届かない」などの問い合わせが多く寄せられています。

自動車の登録内容に異動(移転・変更・抹消)がある場合は、必ず3月末までに福島運輸支局などで手続きを済ませましょう。

【軽自動車に関すること】

問総務課税務係 ☎ 49-3111

【登録手続きに関すること】

問東北運輸局福島運輸支局いわき自動車検査登録事務所

☎ 050-5540-2016

【自動車税種別割納税通知書の送付先変更などに関すること】

問県南地方振興局県税部課税課

☎ 0248-23-1519



スマホで確定申告!申告書作成
会場を開設(白河税務署)

申告書作成会場では、スマホとマイナンバーカードを使用して自分で申告書などを作成していただきます。マイナンバーカード(暗証番号:数字4桁、英数字6～16文字)を忘れずに持参してください。

なお、事前相談を希望する人はLINEによる事前予約をお願いします。



(国税庁LINE)

開設場所 白河市産業プラザ人材育成センター2階講堂

開設期間 令和8年2月16日(月)～3月16日(月)

開設時間 午前9時～午後4時

その他 提出のみの人は、郵送または白河税務署(本庁舎)に提出してください。

問白河税務署

☎ 0248-22-7111 (代表)

※音声案内で「2」番を選択してください。



福島県立医科大学「県民健康調査」
国際シンポジウム

福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターでは、福島原発事故後の県民の健康を見守るため「県民健康調査」を実施しており、2019年より国際シンポジウムを開催し、調査の進捗と結果に関する情報を発信しています。

日時 令和8年3月12日(木)

午後0時20分～午後6時10分

定員 会場…75人程度(Zoom 配信あり)

会場 福島県立医科大学福島駅前キャンパス

申込み 令和8年3月2日(月)

まで ※会場参加もZoom 視聴も申込みが必要です。



(詳細はこちら)

問福島県立医科大学放射線医学健康管理センター 広報・国際連携室
☎ 024-581-5454



国民年金の保険料の納め方

国民年金保険料の納付方法は、納付書による納付のほか、口座振替やクレジットカード納付があります。口座振替やクレジットカード納付の利用は、納め忘れを防ぐことにも有効です。また、前納をすることで割引を受けることもできます。

納付の手続きは、役場住民福祉課住民係、またはお近くの年金事務所へご相談ください。なお、令和8年4月からの前納による口座振替申出は、2月末が期限です。

■令和7年度保険料での比較

【毎月納付】

17,510円×12か月＝210,120円

保険料	
1年分前納現金納付	206,390円 (▲3,730円割引)
1年分前納口座振替	205,720円 (▲4,400円割引)

※このほか、1か月前納や6か月前納、2年前納があります。

※保険料は年度単位で変更があります。

問住民福祉課住民係 ☎ 49-3112

問日本年金機構白河年金事務所

☎ 0248-27-4161



引越し手続はマイナポータルで

マイナンバーカードを所有している人は、マイナポータルからオンラインで転出届および転入予約(来庁予定の連絡)ができます。引越しの際には、ぜひマイナポータルから「引越し手続オンラインサービス」をご活用ください。※ご利用にはアプリのダウンロードが必要です。

引越し手続オンラインサービス | Q



問マイナンバー総合フリーダイヤル

☎ 0120-95-0178

暮らしのカレンダー

2/1 日	ニュースポーツ大会 / 環境美化の日 交通事故ゼロ・歩行者優先の日	☎43-1145
2 月		
3 火	節分	西山
4 水	立春 手まめ館定休日	乳保
5 木	1歳6か月児健康診査	中野
6 金		渡瀬
7 土		
8 日	木村医院 ☎46-3528	歯
9 月	3か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談	健鯨
10 火		東石
11 水	建国記念の日 7か月・10か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談	☎33-8018
12 木		車
13 金		西野 車
14 土		
15 日	シルバー交通安全の日 ☎43-2250	車
16 月		車
17 火		乳保 車
18 水	手まめ館定休日 やまぶきの会	車
19 木		健鯨 青生野
20 金	心配ごと相談 一日入園(こどもセンター)	
21 土		
22 日	東館診療所 ☎46-2312	
23 月	和田医院 ☎33-2012	
24 火	天皇誕生日	
25 水		
26 木		
27 金		健鯨
28 土		
3/1 日	環境美化の日 交通事故ゼロ・歩行者優先の日	大木医院 ☎33-2424
2 月		
3 火		西山
4 水	手まめ館定休日	
5 木		中野

戸籍の窓 ※ 12月届け出分・敬称略

お誕生

おく
やみ

人の
動き

1 / 1 現在
() は前月比

人口	2,726 人	(-18)
男	1,409 人	(-15)
女	1,317 人	(-3)
世帯	1,028 戸	(-5)

診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

曜日	月	火	水	木	金
地区	赤坂中野 赤坂東野 石井草	赤坂西野 西山	全村	青生野	富田 渡瀬

NOTE

毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます
3月の担当は鯨川小学校の〇人です。



菊地愛芽ちゃん
芳賀 凧くん
鏑木瑛太くん
白坂丞志くん
北條未来くん
(音声は5人です)

あおぞら号昼バス運行日

やまゆり乳児室・保育室

筋力づくり教室 ママカフェ

健鯨運動教室 / 会場 ▶ 公民館

2月 9日 (月) 12時～3時 …快眠のための瞑想ヨガ・ヨガ
2月 19日 (木) …骨格リセットエクササイズ、腰痛予防ストレッチ
2月 27日 (金) …腸がよるこぶエクササイズ・ストレッチエクササイズ

教育委員会便り 第10回

社会学級の活動記録

社会学級は村の60歳以上の人を対象とした公民館事業で、自主学習や集団での活動を通して生き甲斐や充実した生活を見いだすとともに、急激に変化する社会に順応できる力を養うことを目的として活動しています。

令和7年度は予定していた講座全6回が終了しました。次年度も様々な講座を計画しています。

第1講座

開級式・知っておきたい薬の知識講話
6月25日(水) / 参加者62名

令和7年度社会学級の開級式と、県南保健福祉事務所職員より「知っておきたい薬の知識」と題して講話をいただきました。日頃の服薬に対する意識を振り返るきっかけになりました。

第3講座

村外研修
9月25日(木) / 参加者32名

今年度は、茨城県の大洗磯前神社・かねふくめんたいパークを巡る村外研修に行きました。村外へのバス旅行で参加者同士の親睦を深め、有意義な時間を過ごせた1日でした。

第5講座

少年主張大会・音楽発表会の聴講
11月1日(土) / 参加者42名

少年主張大会・音楽発表会を聴講しました。小・中学生の少年主張、鯨中特設合唱部、コーラスさめがわ、中島蒼さんグループの演奏を楽しみました。堂々と発表する姿に感動しました。

第2講座

竹ひごを使ったすだれ作り
7月24日(木)・25日(金) / 参加者52名

2日間4会場で創作活動を行いました。細かい作業ではありましたが、黙々と作業を進めていました。季節感あふれる作品を完成させることができました。

第4講座

大運動会・秋の味覚祭
10月27日(月) / 参加者46名

社会学級生とチャレンジスクールの子も達が合同でストラックアウト、新聞紙運び競争、豆つかみ競争の3競技を楽しんだ後、昼食と一緒に食べ、貴重な機会となりました。

第6講座

物づくり・閉級式
12月23日(火) / 参加者53名

令和7年度社会学級の閉級式とミニ門松づくりを行いました。手先を使う作業に「難しい」と言いつつも、両隣の人と助け合いながら真剣に取り組みました。



①開級式で今年度の活動がスタート ②完成品を手に笑顔の参加者
③大洗磯前神社で記念撮影 ④子ども達と交流を深めました ⑤丁寧にミニ門松を作る参加者

